

緊急度分類表

2009年3月**日改訂

症状	蘇生	緊急	準緊急	非緊急
中枢神経	昏睡、痛み刺激に無反応 意識レベルが進行性に悪化 痙攣中 GCS 3~8	傾眠、混迷、混乱 ⇒ 迅速血糖 痙攣頓挫：意識障害残存、同日複数回 意識障害の疑い GCS 9~14	清明(GCS 15) 痙攣頓挫：意識清明 意識障害の既往（来院時意識清明） VPシヤント不全の可能性	清明 (GCS 15)
呼吸	呼吸停止/呼吸不全、高度の徐呼吸 SpO ₂ <90% 発語・会話不能、チアノーゼ アナフィラキシー 上気道閉塞： 窒息、著明な流涎、 著明な吸気時陥没呼吸・喘鳴 下気道閉塞： 呼吸不全	呼吸窮迫症状が明らか SpO ₂ 90~92% 会話困難、多呼吸 努力呼吸 (呻吟・鼻翼呼吸・肋間陥没呼吸・肩呼吸) 上気道閉塞： 安静時の吸気性喘鳴 下気道閉塞： 著明な呼気性喘鳴 ピークフロー <40%	呼吸窮迫症状が軽度あるいは運動時のみ SpO ₂ 93~94% 会話可能・呼吸苦の訴え 軽度の努力呼吸（軽度の陥没呼吸） 上気道閉塞の可能性： ク룹疑いだが落ち着いている 犬吠様咳嗽のみ 泣くと吸気性喘鳴出現 下気道閉塞： 聴診にて喘鳴聴取 ピークフロー 40~60%	呼吸窮迫症状なし SpO ₂ ≥95% 聴診所見正常 呼吸数正常
循環	心停止 ⇒ コードブルー 高度の徐脈 血圧低下 重篤な臓器灌流障害の所見、ショック (脈拍微弱、顔面蒼白) 大量出血中	末梢循環不全（末梢冷感、CRT≥3秒） 頻脈（1歳未満>220, 1歳以上>180） 上室性頻拍疑い 新たな不整脈 胸痛（苦悶様顔容、発汗あり） 大量出血（圧迫にて止血可能）	末梢循環正常（CRT≤2秒） 胸痛（バイタルサイン安定） 少量出血（圧迫にて止血可能）	末梢循環正常（CRT≤2秒） 心拍数正常
発熱 (感染症)	敗血症性ショック	全身状態不良・末梢循環不全を伴うもの 免疫不全状態・免疫抑制状態にあるもの 考慮すべき基礎疾患 満3ヶ月未満児の発熱（≥38.0℃）	満3歳未満で≥40℃ 水分摂取不良（⇒ 脱水の評価 ） 咳嗽が著しい（⇒ 呼吸を評価 ） 関節の炎症所見を疑う発熱	気道症状が明確で元気 体表局所の痛み・腫脹・熱感を伴わない発熱 * 気道症状の無い以下のものは採尿 女児：満2歳未満/男児：満6ヶ月未満
嘔吐下痢 (脱水)	循環血液量減少性ショック	ぐったりしている ⇒ 迅速血糖測定 末梢循環不全（末梢冷感、CRT≥3秒） 涙が出ない、皮膚ツルゴール低下 胆汁性嘔吐・血性嘔吐 急性腹痛疑い（歩けない等） 明らかな腹部膨満 吐血・下血、腹部症状を伴う著明な血便	それほどぐったりはしていないが、 脱水の徴候あり 12時間以上排尿なし 乳児で多量水様性下痢1日6回以上 水分摂取ごとに嘔吐/嘔吐頻回 虫垂炎・腸重積を疑う病歴 吐物に少量の血液混入、少量の血便	嘔吐・下痢はあるが回数少なく活気あり 水分摂取良好 乳児で下痢6回未満 年長児の嘔吐・下痢で1日10回未満
外傷 事故 筋骨格系	多発外傷 ⇒ 多発外傷コード 外傷性心停止 ⇒ コードブルー 四肢切断	外傷コード適応外の交通外傷・転落 出血の続いている切創・刺傷・咬傷 顔面・頭頸部の咬傷、挫滅の著しい咬傷 指の切断 骨折（開放・激痛・循環障害・運動障害） 高熱と激しい関節痛を伴う歩行障害	挫創・切創・刺傷（止血されている） 挫滅が軽度の咬傷（頭頸部以外） 骨折・捻挫の疑い（⇒ 痛みを評価 ） 肘内症疑い（痛みあり）	小さい擦過傷・小切創 虫刺症 軽症打撲 肘内症疑い（安静時に痛みなし）
頭部外傷 頭部打撲	昏睡、痛み刺激に無反応 意識レベルが進行性に悪化	意識障害（興奮・傾眠）⇒ 頸椎固定 巣症状・神経症状あり 頭蓋底骨折を疑う所見 (髄液漏、パトル徴候、パンダ目徴候)	来院時に意識清明、かつ 大きい血腫 一過性の意識障害 持続する嘔気・嘔吐・頭痛 脳神経外科手術既往 抗凝固療法中	来院時に意識清明、かつ 2歳以上/無症状で外傷がない
体幹	呼吸窮迫状態にある胸部外傷 胸腹部打撲後のショック 気道閉塞	胸腹部打撲後の痛み (やぐったり、顔色不良)	胸腹部打撲後の痛み（全身状態安定）	
異物誤飲 誤嚥	気道熱傷 広範囲熱傷（Ⅱ度 20%以上）	気道症状あり 薬剤（向精神薬、経口血糖降下薬、 カルシウム拮抗薬、βブロッカー、抗不整脈 薬、アルカリ製剤、揮発性薬剤、農薬	気道症状なし その他の薬剤 ボタン電池・鉛製品 タバコ（症状なし/1本未満）	気道症状なし 小さなプラスチック製品 タバコ（症状なし/6時間以上経過）
熱傷	気道熱傷 広範囲熱傷（Ⅱ度 20%以上）	広範囲熱傷（Ⅱ度 20%未満） 頭部・顔面・生殖器・外陰部の熱傷 化学熱傷 電撃症	左記以外の狭い範囲のⅡ度熱傷 ⇒ 冷却しながら待機 ⇒ 痛みの評価	日焼け Ⅰ度熱傷 ⇒ 痛みがあれば冷却しながら待機
耳・鼻 咽頭 口腔	気道閉塞 呼吸不全	流涎、吸気性喘鳴を伴う咽頭痛 外傷後の嚥下困難、嘔声 耳介切断 止まらない鼻出血 鼻異物（ボタン電池） 歯を持参し来院した永久歯脱臼	口腔内外傷：気道症状なし 耳介切創 聴力障害 止血可能な鼻出血 鼻異物 歯牙外傷	咽頭痛 中耳炎疑い（耳痛・耳漏）（⇒ 痛みを評価 ） 耳異物 すでに止血した鼻出血 鼻閉
泌尿器 生殖器	精巣の激痛、陰囊皮膚変色/腫脹 ヘルニア陥頓 包茎陥頓	精巣の激痛、陰囊皮膚変色/腫脹 ヘルニア陥頓 包茎陥頓	尿管感染症疑い：基礎疾患あり (VUR, 二分脊椎等) 精巣の軽度疼痛、陰囊軽度発赤/腫脹	亀頭・包皮の発赤/腫脹/疼痛 (⇒ 痛みを評価)
眼・眼周囲	急性発症の視力障害 穿通性外傷 化学物質（酸・アルカリ）への暴露 眼窩感染症（発熱・痛みあり）	急性発症の視力障害 穿通性外傷 化学物質（酸・アルカリ）への暴露 眼窩感染症（発熱・痛みあり）	異物 眼窩周囲感染症（発熱なし）	結膜炎 麦粒腫 睫毛内反
皮膚	アナフィラキシー (皮膚症状+気道/循環/中枢神経症状)	新たな紫斑 蜂窩織炎：発熱・全身症状あり アレルギー反応 皮膚症状：範囲が広い 顔面に集中 摂取後間もない（1~2時間）	紫斑（アレルギー性紫斑病の診断あり） 蜂窩織炎：発熱なし、局所症状のみ アレルギー反応 (皮膚症状のみ：12時間以内)	アトピー性皮膚炎増悪 アレルギー反応 (皮膚症状のみ：12時間以上経過)
行動変化 虐待	暴れて手が付けられない、危険な状態	自傷・他害の可能性が高い 虐待の継続または危険な環境 あやしても泣き止まない：バイタル異常 乳児の無呼吸発作：呼吸窮迫症状あり	虐待を疑う病歴や徴候（受診時は安全） あやしても泣き止まない：バイタル正常 乳児の無呼吸発作：ALTE疑いだが安定	泣き止まなかったが受診時は安定
在宅医療児 先天疾患児		主治医の依頼事項（急激な悪化の可能性、 直ちに治療的介入が必要である可能性） 先天性代謝異常/Ⅰ型DM/副腎機能不全 の児における嘔吐・経口摂取不良	保護者が検査・治療が必要と判断 (受診時の呼吸・循環は安定)	
痛み		疼痛スケール： 8~10	疼痛スケール： 4~7	疼痛スケール： 1~3

移動場所	初療室	診察室	待合室	待合室
モニタリング	O2/ECG/SpO2/バイタルサイン	SpO2/バイタルサイン		